

おわりに

令和4年度より本校では文部科学省 研究開発学校制度の指定を受けた学校研究を4年計画で進めております。

学習指導要領の改訂があり、知的障害特別支援学校における教科教育に取り組むにあたりましては、各学校様が大変ご苦勞されているというお話を多く伺うことがございます。まさに、私たちも悩みながら本研究を進めてまいりました。

個人的な話で大変恐縮ですが、本研究の進め方について悩む中、小学生の頃のことを思い出しました。『古い地層から化石が見つかる、その化石がいつくらいのものなのかが分かるんだよ。』と小学校の社会科の授業で先生が話をしていました。小学生の私は「地層じゃないところから見つかったものはどうなの？」という疑問を持ちました。私はその頃から「社会科」が大好きになりました。大学も史学科に進みました。博物館をめぐることが趣味となり、昨年末に話題となった東京国立博物館の特別展「国宝 東京国立博物館のすべて」には6回ほど足を運びました。

また、私は松尾芭蕉が「おくのほそ道」で「しずかさや いわにしみいる 蟬の声」という俳句を詠んだ山形領立石寺の麓で育ちました。一昨年の夏、母を連れて蔵王温泉に行った時のできごとです。小学生くらいの男の子と年長さんくらいの女の子を連れた家族の会話を耳にしました。

男の子：しずかさや……。ん？しずけさや？

お母さん：松尾芭蕉、立石寺だね。行ってみようか。

蔵王温泉からその家族と同じバスに乗り、山形駅へ移動。そこで1時間ほどの乗り継ぎ時間があり、仙山線で山寺駅へ。電車を降りた時、再び、その親子に会いました。『本当に来たんだ。ステキな親子だなあ。』と思いました。

学校での学びが、「なぜ？」「どうして？」「見てみたい」「行ってみたい」…と子どもの気持ちを動かす。自分事になる。現在や将来の子どもたちの生活を豊かにする…そんな風に、この研究がつながっていけば…と思っています。

さてこの度、おかげさまで初年度の研究紀要としてまとめることができました。ご指導ご助言をいただきました研究協力講師の先生方に心より感謝申し上げます。また、本研究紀要をご覧いただき、本校の取り組みについて様々な視点からご指導ご鞭撻をいただければ幸甚でございます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2023年3月

筑波大学附属大塚特別支援学校
副校長 大宮 弘恵

運営指導委員		学部研究指導助言講師	
米田 宏樹 先生	筑波大学 人間系	幼稚部	松寄 洋子 先生 明治学院大学 心理学部
唐木 清志 先生	筑波大学 人間系		真鍋 健 先生 千葉大学 教育学部
横倉 久 先生	特別支援教育総合研究所	小学部	横倉 久 先生 国立特別支援教育総合研究所 (兼運営指導委員)
増田 謙太郎 先生	東京学芸大学教職大学院		吉井 勘人 先生 山梨大学大学院 総合研究部
田村 学 先生	國學院大学 人間開発学部	中学部	石田 周子 先生 筑波大学附属 桐が丘特別支援学校
中村 晋 先生	帝京大学 教育学部		小島 道生 先生 筑波大学 人間系
		高等部	唐木 清志 先生 筑波大学 人間系 (兼運営指導委員)
			是枝 喜代治 先生 東洋大学 ライフデザイン学部

研究同人

校 長 川間 健之介				
副 校 長 大宮 弘恵				
主幹教諭 佐藤 知洋				
学部	幼稚部	小学部	中学部	高等部
主事	小笠原 志乃	田上 幸太	杉田 葉子	石飛 了一
担任	〈ひまわり組〉 厚谷 秀宏 岩附 成子 〈さくら組〉 藤島 瑠利子 (○) 根本 文雄	〈はな組〉 加部 清子 宇佐美 太郎 環 航世 〈つき組〉 田中 翔大 森澤 亮介 兼子 南 〈そら組〉 高津 梓 (○) 宮林 一菜	〈1年〉 菅野 佳江 (○) 飯島 徹 〈2年〉 久野 智宏 藤本 美佳 〈3年〉 菊地 恵美 堀江 俊丞	〈1年〉 若井 広太郎 (○) 仲野 みこ 〈2年〉 居林 弘和 飛田 真里 〈3年〉 山口 裕紀子 澁谷 高伸
教務主任 佐藤 義竹 (◎) 進路指導主事 北村 洋次郎 養護教諭 土田 裕美 栄養教諭 福地 香代子 筑波大学連携推進グループ 根岸 由香				
非常勤講師	上田 みどり	松下 ちひろ	青木 萌	

(◎研究主任 ○研究部)

研究報告書－1 年次－

(研究紀要第 67 集)

発行日 令和 5 年 3 月 27 日

発行者 筑波大学附属大塚特別支援学校

〒112-0003 東京都文京区春日 1-5-5

TEL:03-3813-5569 FAX:03-5684-4841

印刷所 株式会社 三協社

〒164-0011 東京都中野区中央4-8-9

TEL:03-3383-7281 FAX:03-3383-7282